

《担当者名》中川賀嗣 poverame@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

精神保健に関する知識を我々が共有すること、或いは実際に実施されている制度は、日常生活を円滑に過ごすのに極めて有用である。さらにリハビリテーションを提供する際には、より円滑な実施にとって極めて重要な糧となる。この精神保健について、学生が情報を持ち寄り学ぶ。

【学修目標】

一般目標：

1. 精神保健の現状を把握するために、人の精神特性を各発達段階で区分し、各段階ごとの精神特性を理解する。
2. 精神保健の現状を把握するために、過去の我が国の精神保健に関する制度を各発達段階ごとに理解する。
3. 精神保健の現状を把握するために、現在の我が国の精神保健に関する制度を各発達段階ごとに理解する。
4. 精神保健に関する自身の考えを説明できる。

行動目標：

1. 精神保健に関する諸問題についての文献を選定できる。
2. 精神保健に関する諸問題についての文献を比較、分類できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	イントロダクション	オリエンテーション	中川賀嗣
2	発達の枠組みの確認 各発達段階での精神特性と疾患	発達の枠組みの確認 小児・青年期の精神特性と疾患	中川賀嗣
3	各発達段階での精神特性と疾患	成人・初老期の精神特性と疾患	中川賀嗣
4	各発達段階での精神特性と疾患	老年期の精神特性と疾患	中川賀嗣
5・6	過去の制度の全体像の確認 過去の我が国の精神保健関連制度	過去の制度の全体像の確認 過去の我が国の精神保健に関する制度	中川賀嗣
7～14	現在の制度の全体像の確認 現在の我が国の精神保健関連制度	現在の制度の全体像の確認 現在の我が国の精神保健に関する制度	中川賀嗣
15	総合討論	総合討論	中川賀嗣

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

発表の内容とレポート（発表のレジュメ）（70%）、質疑応答の内容（30%）で評価する

【教科書】

指定しない。（発表を担当する学生が資料を準備する）発表資料は原則学術論文の内容に基づいて作成すること

【参考書】

図書館等にある精神医学や精神衛生、公衆衛生の教科書を適宜参照すること。

【学修の準備】

シラバスであらかじめ決められているテーマについて、精神医学や精神衛生、公衆衛生の教科書、学会誌等を検索し、その概要を理解してくること（80分）。発表を担当する際には、事前に口頭発表の準備（ハンドアウト作成も含む）をすること（80分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、高度専門職業人としてリハビリテーション科学の実践に寄与できる優れた知識・技術と研究能力の基礎を修得するというリハビリテーション科学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

医師

【実務経験を活かした教育内容】

医師として実践的な経験にもとづいた指導を行う。